



はくろ（白鷺）の散歩Ⅴ

～校長室の窓から～

令和5年9月21日

令和5年度 No.9

神奈川県立平塚中等教育学校

校長 松本 靖史

【本校PTAが自転車安全点検を行いました】

本校では後期課程生から自転車通学を認めており、200名近くの生徒が自転車を利用しています。交通安全指導の一環として、9月7日（木）にPTAの交通安全グループが、自転車協会湘南支部のご協力のもと、生徒が本校駐輪場に駐輪している自転車の安全点検を行いました。点検結果は、黄色い短冊に記載の上、生徒に知らせています。



PTAの方にお話を聞くと、不具合が見つかった自転車や施錠していない自転車もあったということでした。自転車は便利な乗り物ですが、最近はマナーの悪さや加害者としての側面も注目されています。きちんと整備された自転車に安全に乗るよう、学校も粘り強く指導してまいります。

【かながわ子どもサポートドッグの取組】

第2回定期試験の最終日である9月7日（木）から、かながわ子どもサポートドッグの取組を実施しています。

これは、今年度から神奈川県教育委員会が全県立高等学校・中等教育学校で行っているものです。

- ①1人1台端末を活用し生徒が自己チェック
- ②SC、SSW、担任等が困難を抱える子どもを把握
- ③SC、SSWによるプッシュ型面談
- ④校内ケース会議で支援方法を検討し、医療や福祉の「アウトリーチ」につなぐ

これらの①から④までの一連の流れのことを言います。自覚症状の有無にかかわらず検査を受けて身体の異常を早期に発見し治療につなぐ「人間ドック」になぞらえて、「サポートドッグ」と名付けられています。生徒のより良い学校生活のために、ご協力をお願いいたします。

【大学出張授業】

9月14日（木）の5～7校時にかけて、4・5年次生を対象に大学出張授業を行いました。大学教員による講義を通して、大学教育への興味・関心をもち、生徒が何を学びたいのかを主体的に考えてもらうことを目的としています。

他の高等学校でも、こういう取組は実施していますが、本校の場合は業者を通さず、キャリアグループの教員が大学を選定し来校してもらっています。今年度は、12テーマの講座を設定し、9つの大学から先生方に来ていただきました。テーマは、遺伝子情報、マーケティング、会計、羽ばたき飛行、多様性の尊重、インターネット上の問題など様々で、生徒は熱心に講義を聞いていました。

【2学年生徒がぼんぼり市の運営に参加しました】

平塚八幡宮の「ぼんぼりまつり」の一環で、表参道の大門通りで「ぼんぼり市」が9月16日（土）17時から21時まで開催されました。2学年の総合的な学習の時間「地球環境」では、「町の課題を解決する」ことをねらいにしていることから、今年度は「ぼんぼり市」での縁日に運営参加しました。（縁日は17時～20時まで）

生徒たちはグループで企画を練り、クラスでのプレゼンテーションを経て、一番良い出し物を選び、クラス全員で当日まで準備を重ねてきました。紙芝居、射的などクラスで一つずつの企画を出しました。

当日は多くの子ども連れで賑わっており、それぞれの催し物で工夫が凝らされており、楽しい仕掛けが盛り沢山でした。

今後とも、地域の団体等と連携して、本校の生徒たちが様々な形で参加して学習成果を発表し、成長して欲しいと思います。



来場者で賑わっています。



射的は大人気